

リハビリテーション科に通院中（または過去に通院・入院されたことのある）の
患者さんまたはご家族の方へ（臨床研究に関する情報）

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、患者さんの診療情報を用いて行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」（平成 26 年文部科学省・厚生労働省告示第 3 号）の規定により、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の問い合わせ先へご照会ください。

[研究課題名] 高次脳機能評価とワークサンプルとの関連性の検討

[研究機関名・長の氏名] 北海道大学病院 秋田 弘俊

[研究責任者名・所属] 北海道大学病院リハビリテーション科 教授 生駒 一憲

[研究の目的]

各高次脳機能評価とワークサンプル幕張版との関連性を調査し、高次脳機能評価と作業活動を詳細に検討する事で、より効果的な作業療法介入を目指す。

○対象となる患者さん

2016 年 4 月 1 日から 2019 年 11 月 30 日までの間に北海道大学病院リハビリテーション科にパス入院し、作業療法にて高次脳機能障害評価・ワークサンプル幕張版を実施した高次脳機能障害者

○利用するカルテ情報

- ① 年齢
- ② 性別
- ③ 受傷後期間
- ④ **Barthel Index**（バーセルインデックス：以下 BI）：日常生活自立度評価法の一つで全 10 項目を 100 点満点で採点する評価法
- ⑤ 受傷後最初に当院で行った高次脳機能評価結果
 - ・ **Trail-Making Test**（項目：part-A・part-B）
 - ・ かな拾いテスト（項目：正解数・見落とし率）
 - ・ 三宅式記銘力検査（項目：有関係対語・無関係対語）
 - ・ リバーミード行動記憶検査（項目：標準プロフィール得点）
 - ・ **Wechsler adult intelligence scale III**（項目：下位 13 項目評価点・各 IQ 及び言語理解・知覚統合・作動記憶・処理速度群指数）
 - ・ **Behavioural assessment of the dysexecutive syndrome**（項目：標準化得点・下位 6 項目検査得点）

・ Wisconsin card sorting test (項目 : CA・PEN・DMS得点)

⑥ 各WSMの課題種類, 正答率及び遂行時間

[研究実施期間]

実施許可日～2020年12月31日

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

研究に利用する患者さんの情報に関しては、お名前、住所など、患者さん個人を特定できる情報は削除して管理いたします。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる情報は削除して利用いたします。

*上記の研究に情報を利用することをご了解いただけない場合は以下にご連絡ください。

[連絡先・相談窓口]

北海道札幌市北区北 14 条西 5 丁目

北海道大学病院 リハビリテーション部 作業療法士 本谷 卓朗

電話 : 011-706-5740 (内線) FAX : 011-706-7626